

# 佐々町立佐々中学校学校だより(HP)

「ときめき」第11号 令和3年7月20日(火) 文責 校長 井上博之

## ○ PTA評議員会(拡大)を行いました

7月13日(火)に図書室にてPTA評議員会(拡大)を行いました。生徒指導担当から夏休みの生活心得について、教務主任から2学期の学校行事予定の説明後、PTA執行部、各学年委員長、各専門部からは1学期の活動報告と今後の活動計画が発表されました。その後の質疑では一人1台のPC活用(家庭持ち帰り)について、QU調査についての質問がありました。タブレットPCの持ち帰りについては先日、各家庭のネット環境の調査を行いました。続いてフィルタリングソフトの導入が完了し、8月9日以降に町教委の準備が整う予定です。

本校では、PCを利用する必要がある夏休みの課題設定がなく、持ち帰りの必要がない事、生徒・保護者への家庭での活用の指導連絡がまだ不十分であることから、今年度の夏季は全体的なPCの貸し出しは行いません。(必要な生徒に対する個別対応は可能)

## ○ 長崎県中総体出場選手・吹奏楽コンクール出場激励式

7月15日(木)の6時間目に、令和3年度長崎県中学校総合体育大会に出場する選手及び、吹奏楽コンクールに出場する吹奏楽部員の激励式を、体育館と各教室(リモート)で行いました。出場選手、団体の紹介の後、選手代表の力強い選手宣誓、生徒会代表の激励の言葉、校長からの話、そして最後に、文化ホールで吹奏楽部がリハーサル練習を収録した動画を視聴して、各部、各個人の活躍を願い、全校で激励しました。

県中総体は7月25日(日)から以下の各会場で、吹奏楽コンクールは8月1日(日)にアルカス佐世保にて行われます。佐々中学校の代表として、さらに佐世保北松地区の代表として、誇りと自信を持ち、堂々と、各競技・演奏・演技に臨んでほしいと思います。また、この大会が2年ぶりに開催される事と、これまでお世話になった全ての人への感謝の気持ちを持ち、精一杯、取り組んでほしいと願っています。

各会場での試合開始時刻や応援の入場制限、その他の詳細については各競技・会場ごとに決められていますので、必ず事前にご確認願います。

7月25日(日)の主な試合会場、競技開始時刻

- ・陸上競技 諫早トランス・コスモスタジアム(10時～)
- ・サッカー競技 島原市営平成町人工芝グラウンド(11時30分～)
- ・バレー女子 長崎市立桜馬場中学校(11時～)
- ・剣道男子 長崎県立総合体育館メインアリーナ(9時45分～)
- ・卓球 佐世保市体育文化会館(10時～)
- ・ソフトテニス 長崎市総合運動公園かきどまり庭球場(9時30分～)
- ・柔道男子 長崎県立総合体育館武道場(10時～)
- ・新体操 長崎市民体育館(10時30分～)
- ・空手道 佐世保市 長崎県立武道館(9時30分～)
- ・水泳競技 長崎市民総合プール(10時～)

## ○ 学校・警察等連絡会、佐々町非行防止対策会議

7月15日(木)18時から佐々町公民館にて佐々町学校警察等連絡会が、引き続き19時から地域交流センターにて非行防止対策会議が開催されました。小中学校3校の校長と生徒指導担当、教育委員会、江迎警察署等が参加し、19時から清峰高校、PTA会長、青少年育成会等も加わり、地域や学校の状況、登下校の安全対策、非行防止などについて確認や情報共有、協議

を行いました。会議の中では小中高校の夏休みの生活心得の確認、通学路の交通安全や危険箇所点検、河川公園の有効利用等についても意見が交わされました。警察署からは、全体的には管轄地域の青少年による迷惑行為、非行、犯罪行為等は減少傾向であると説明されました。

夏休みは児童生徒の生活が地域や家庭中心となります。大切な子供たちが事故や事件に巻き込まれないよう、家庭と地域、学校や行政と一緒に課題を共有し、予防と防犯、早めの対策に力を入れていきたいと思えます。

また、ネットの活用については学校でも指導していますが、生徒の状況を見ると、十分なモラルやマナーが守られていません。判断を誤ると、自身が被害・加害者となります。各家庭でも利用のルールをもう一度ご確認のうえ、見守りをよろしくお願ひします。

## ○ 校長講話と生徒集会を行いました

7月16日(金)の5校時に校長講話(約10分)、その後生徒総会の積み残し議題について生徒会室と各教室(リモート)で行いました。コロナ対策で全校集会ができない今、PCを活用してのリモート集会もずいぶん定着してスムーズに行えるようになりました。

校長講話は短時間の設定だったため、じっくりと考えさせることはできませんでしたが、前回の「長崎っ子の心を見つめる教育週間 校長講話」の続きとして、1学期を振り返って見えてきた本校の課題について話をしました。

〈講話の主な内容〉 「人権意識を変えよう」

友人関係のトラブル、スマホやSNSのトラブルの原因の根底に「人権意識の問題」がある。全ての生徒一人一人がかけがえのない大切な存在であり、差別意識や偏見、相手の心や立場を考えない行動が様々なトラブルを引き起こす原因であり、人権意識を高く持つためには、人間の本質を知り、個人の継続した努力と周囲の協力が必要不可欠であることを話しました。

この後、生徒会に司会をバトンタッチし、「学校生活向上に関する学級からの提案」が各学級からリモートで発表されました